

# 物語のせつていと出来事をかくにんしよう。

〈活動一〉 「白いぼうし」を一回音読しましょう。

〈活動二〉 「白いぼうし」を4つの場面に分け、教科書に1〜4の場面番号を書きこみましょう。

う。(行が開いているところが目印ですね。)

- 第一場面：始め〜P十七の十一行目まで
- 第二場面：十八ページ一行目〜二十ページ六行目
- 第三場面：二十ページ八行目〜二十二ページ五行目
- 第四場面：二十二ページ五行目〜終わり

〈活動三〉 各場面の登場人物をかくにんしましょう。

場面	登場人物
一	(松井) (さん)、(お客) (のしんし)
二	(松井) (さん)、(おまわり) (さん)
三	(松井) (さん)、(女) (の子)、(男) (の子)、男の子のお母さん
四	(松井) (さん)、たくさんの(白いちょう) ( )

〈活動四〉 各場面のあらすじをかくにんしましょう。

場面	あらすじ※ ( ) の中に言葉を入れましょう。
一	(六月) (のはじめの、(夏) (がいきなり始まったかのような暑い日。いなかのおふくろが送ってくれた(夏みかん) (があまりにもうれしくてタクシーに乗せた(松井) (さん。その夏みかんについてお客のしんしと話しをしていました。
二	車道のすぐそばに(小さなぼうし) (が落ちているのを見つけた松井さん。ぼうしをつまみ上げたたん、(もんしろうちょう) (が中から飛び出しました。つかまえようとあわててぼうしをふりまわした松井さんですが、つかまえることができませんでした。白いぼうしの持ち主である(たけのたけお) (くんが(がっかり) (しないように、(夏みかん) (をかわりに入れておきました。

場面

あらずじ※（ ）の中に言葉を入れましょう。

三

車にもどると、おかつぱのかわいい（女の子）がタクシーの後ろのシートにすわっていました。女の子は松井さんに（葉の花横町）まで行ってほしいと伝えました。その時、（男の子）がおかあさんといっしょにぼうしのところまでもどってきました。男の子がぼうしを開けようとしたとき、女の子が（せかせか）と「早く行ってちょうだい」と言い、松井さんはあわててアクセルをふみました。

四

ぼかつと口をOの字に開けている（男の子）の顔を想ぞうしてわらいが（こみあげ）てきた松井さん。気づくと、（女の子）がいませんでした。車を止めて、まどの外を見てみました。小さな団地の前の野原にたくさんの（白いちょう）が飛んでいるのを見つけました。そのちようをぼんやり見ているうちに「よかったね」  
「よかったよ」（ ）と言う小さな小さな声が聞こえてきました。

〈活動五〉物語を読んで、ふしぎだなと思うところはどんなところですか。自分の考えを交えてかき

みましょう。

自分で書きますように。

【学習した日】

月 日 ( ) ( )  
時 分 時 分

番 名前

# 文章から、松井さんの人から（〇〇な人）を 考えよう。

〈活動一〉第一場面から、松井さんの人から（〇〇な人）を考えましょう。

場面

様子が分かる言葉や文

① 「もぎたてなのです。きのう、いなかのおふくろが、速  
速で送ってくれました。においまでわたしにとどけた  
かったのでしょう。」

① 「あまりうれしかったので、いちばん大きいのを、この  
車にのせてきたのですよ。」

○この文章から、松井さんはどのような人だと思いますか。理由も書きましょう。

家にお母さんのことが大好きな人だと思います。それは、送ってもらった  
夏みかんがうれしくて、自分のタクシーにのせたからです。ふつうなら  
食べてしまっただろうけど、タクシーにはのせないからです。大好きなお母さんだか  
らこうしたのだと思っただからです。

〈活動二〉第二場面から、松井さんの人から（〇〇な人）を考えましょう。

② 「おや、車道のおんなすぐそばに、小さなぼうしが落ち  
ているぞ。風がもうひとふきすれば、車がひいてしまっ  
わい。」

② あわててぼうしをふり回しました。

② 小さなぼうしをつかんで、ため息をついている松井さん

② 「せっかくのえものがいなくなっていたら、この子は、  
どんなにがっかりするだろう。」

② ちよつとの間、かたをすぼめてつつ立っていた松井さん

② 松井さんは、その夏みかんに白いぼうしをかぶせると、  
飛ばないように、石でつばをおさえました。

○この文章から、松井さんはどのような人だと思いますか。理由も書きましょう。

（れい）やさしい人だと思います。それは、ちやうをつかまえた子がかわりに  
しないようにちやうをつかまえたようにしたし、夏みかんをちやうのかわりに  
ぼうしの中に入れてくれたからです。やさしい人でないと、そこまでしなから  
です。

〈活動三〉第三場面から、松井さんの人から（〇〇な人）を考えましょう。

3 「ええと、どちららまで。」

3 「菜の花橋のことですね。」

3 松井さんは、あわててアクセルをふみました。

○この文章から、松井さんほどのような人だと思えますか。理由も書きましょう。

（れい）れいぎ正しい人だと思えます。それは、小さな女の子にまで正しい言葉を使えるようになってるし、女の子の言うことをしっかりと聞いてあげたからです。

〈活動四〉第四場面から、松井さんの人から（〇〇な人）を考えましょう。

4 「お母さんが、虫とりあみをかまえて、あの子がぼうしをそうつと開けたとき——。」と、ハンドルを回しながら、松井さんは思います。「あの子は、どんなに目を丸くしただろう。」

4 「おどろいただろうな。まほうのみかんと思うかな。なにしろ、ちようが化けたんだから——。」  
「ふふふっ。」  
ひとりてにわらいがこみ上げてきました

○この文章から、松井さんほどのような人だと思えますか。理由も書きましょう。

（れい）いたずらの好きな人だと思えます。それは、自分がしたことを男の子が必死見したときの様子を思いながら笑っていたからです。

〈活動五〉物語全体を通して、松井さんほどのような人から（〇〇な人）ですか。

（れい）だれに対してもれいぎ正しくてやさしい人。

【学習した日】

月 日 ( ) ( )  
時 分 時 分

番 名前